

外国語活動学習指導案

指導者 T1 高原 知世

T2 Allison Moore

- 1 学 年 第6学年1組（31名）
- 2 単元名 He is famous. She is great. (We Can! 2 Unit3)
- 3 単元について

本単元は、ALT からアメリカの有名人の紹介を聞くことを通して人物紹介に興味を持ち、自分達の好きな人物について友達に紹介することを単元のゴールとして設定している。

本単元では、新出表現を習得することよりも既習表現を活用することに重点を置く。思考力・判断力を働かせ、既習表現を関連付けながらやり取りやゴールでの発表において自分の考えや気持ちを表現することへとつなげていく。また、紹介するという目的のもと、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、例を参考に書き写す活動も行う。これらの学習活動を通して、これまでに慣れ親しんできた表現の語順にも気付けるようにしていく。さらに、やり取りやゴールでの発表においては、「相手にわかりやすくするために」といった他者への配慮を持たせられるようにする。

本学級の児童は、昨年度より週に2時間の外国語活動を行ってきた。学習内容については、新学習指導要領に示されている内容を意識しながら実施している。

5月に行ったアンケート調査では、「英語でやり取りをする際には、会話が続くように、知っている表現を使うようにしています。」という項目に対して87%の児童が肯定的に回答しており、積極的に既習表現を使おうとしている。しかし、一方で「英語でのやり取りや発表をする時には、自分の考えや気持ちなどを伝えていきます。」の項目では、肯定的回答が71%にとどまっている。限られた語彙・表現の中で自分の本当に伝えたいことを表現する難しさを感じているのではないかと考えられる。こうした現状を踏まえ、本単元では、目的や状況に応じて文と文を関連付けることで限られた既習表現の中でも互いの考えや気持ちが伝わる体験をさせていきたい。

4 単元目標

【コ】他者に配慮しながら、自分や第三者について伝え合おうとする。

【慣】自分や第三者について聞いたり言ったりする表現に慣れ親しむ。

例を参考に自分やある人物について紹介する文を書くことに慣れ親しむ。

【気】「主語+動詞+目的語」の文の語順に気付く。

5 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
①他者に配慮しながら、自分や第三者について伝え合おうとしている。	①自分や第三者について聞いたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。 ②例を参考に自分やある人物について紹介する文を書くことに慣れ親しんでいる。	①「主語+動詞+目的語」の文の語順に気付いている。

6 単元ゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	ALT からアメリカの有名人の紹介を聞き、自分達も好きな人物についてALT や友だちに紹介する。
目指す発話例	<p>A : I like watching baseball. It's fun. How about you? My favorite player is Otani Shohei. He can hit well. He can throw well. He can run fast. He is cool.</p> <p>B : Good! I have a question. Do you want to go to America?</p>

7 言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
<p>I am (Ken). I [like/play] (baseball). My favorite (player) is ~. I [<u>have/want</u>] a new [<u>recorder/ball</u>]. I eat (spaghetti). I study (math). I/He/She can [swim/cook/skate/ski/sing/dance]. I/He/She can (play baseball well). My birthday is (April 10th). Who is this? [He/She] is [famous/great]. Do you (play) (tennis)? What do you (like)? Can you (play) (baseball)? How about you?</p>	<p>一般動詞[like/play/want/eat/have/study] 副詞[<u>hard</u>/well/fast] 形容詞[<u>famous</u>/great/funny/kind/cheerful/ friendly/smart/cool] he, she, 動物, スポーツ, 飲食物, 教科, 動作, 身の回りの物, 月日</p>

8 単元計画（全8時間）

時	目標（◆），誌面化されている活動（【】），主な活動（○），Small Talk・やり取り等（★）	評価規準・評価方法
1	<p>◆ある人物の紹介を，イラストや写真などを参考に聞き取る。</p> <p>★Small Talk①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT からアメリカの有名人についての紹介を聞いたり，簡単なやり取りをしたりする。 <p>★Small Talk②（Who am I? クイズ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の紹介を聞いて，それが神辺小のどの先生かを考えて，答える。 <p>【Let's Watch and Think1】 p.18, 19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で音声聞いて，それが誰のことかを考えて，紙面に番号を記入する。 	<p>【慣①】</p> <p>行動観察, We Can 書き込み, 振り返りカード分析</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 線に丁寧に文字を書いて、名前を完成させる。 	
2	<p>◆語順に気を付けて、自分や第三者について聞いたり言ったりする。</p> <p>○“袋の中身は何でしょう”クイズ (“I have ~.”の表現をおさえる)</p> <p>★Small Talk (Who am I?クイズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者の紹介を聞いて、それが誰かを考えて、答える。 <p>○Let's Play①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キーセンテンスゲームをする。 <p>【Let's Watch and Think 2】 p.22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点線囲みにどのような言葉をいれるかを考え、意味が通る文をできるだけたくさん作って言う。 ・ 自分のことについて文を考え、友達と伝え合う。 	<p>【気①】</p> <p>行動観察, 振り返り カード分析</p>
3	<p>◆自分や第三者について紹介する表現を聞いたり言ったりする。</p> <p>★Small Talk①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に学習した一般動詞を使って、ペアの友達と 1 分間会話する。 <p>○Let's Play</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イマジンゲームをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T : Please give him(her) hints. A : It's white. B : ○○ like carrots. C : ○○ can jump high. D : Rabbit? S : That's right. . . .</p> </div> <p>【Let's Listen 1】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声を聞いて、それがどんなキャラクターかを考えて、誌面に答えを記入する。 <p>【Activity】 Who am I?クイズを考える。</p> <p>★Small Talk② (Who am I?クイズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あるキャラクターや人物になりきって、友達とクイズを出題し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A : I like the Pooh. I can skate very well. I have two gold medals. Who am I? B : Are you Hanyu Yuzuru? A : That's right. He is a great skater.</p> </div>	<p>【慣①】</p> <p>行動観察, We Can 書き込み, 振り返り カード分析</p>
4 本 時	<p>◆ある人物について目的や状況に応じて質問したり質問に答えたりする。</p> <p>★Small Talk①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時まで学習した一般動詞を使って、ペアの友達と 1 分間会話する。 <p>★Small Talk②(Who am I?クイズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イラストや写真の中のある人物になりきっている指導者に、質問することを繰り返す中でどの人物になっているかを絞って行って当てる。 <p>★Small Talk③(Who am I?クイズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イラストや写真の中のある人物になりきっている友達に、質問することを繰り返す中でどの人物になっているかを絞って行って当てる。 	<p>【コ①】</p> <p>行動観察, 発言, 振り返り カード分析</p>

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A : I have questions. B : OK. A : Do you play soccer? B : No, I don't. A : Do you study? B : Yes, I do. A : What subject do you study? B : I study math.</p> </div>	
5	<p>◆自分の紹介したい人物について、できることや特徴を伝え合ったり、例を参考に書き写したりする。</p> <p>○Let's Play</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イマジングゲームをする。 <p>【Let's Listen 2】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントを聞いてそれが誰かを考え、表に答えを書く。 <p>★Small Talk① (好きな人物とその理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の好きな人物についての話を聞くとともに、指導者からの簡単な投げかけに答え、やり取りをする。 <p>★Small Talk② (好きな人物とその理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と自分の好きな人物とその理由を伝え合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A : I like running. It's good. I can run fast. My favorite athlete is Fukushima Chisato. How about you? B : I like soccer. I'm good at playing soccer. . . .</p> </div> <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例を参考に自分の好きな人物とその理由を紹介する文を書く。 	<p>【コ①, 慣②】</p> <p>行動観察, ワークシート, 振り返りカード分析</p>
6	<p>◆自分の紹介したい人物について、できることや特徴を伝え合ったり、例を参考に書き写したりする。</p> <p>★Small Talk① (好きな人物のできること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の好きな人物についての話を聞くとともに、指導者からの簡単な投げかけに答え、やり取りをする。 <p>○キャラクターや有名人, 先生等を例に出し, その人物に合う形容詞を考え言ってみる。(人物の特徴を表す形容詞の導入)</p> <p>★Small Talk② 友達と自分の好きな人物について紹介し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A : I like Messi. He can dribble very well. He can shoot very well. He is great. How about you? B : I like Amuro Namie. He is very good at playing soccer.</p> </div> <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例を参考に自分の好きな人物のできることを紹介する文を書く。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな人物に合う形容詞を選んで書き加える。 	<p>【コ①, 慣②】</p> <p>行動観察, ワークシート, 振り返りカード分析</p>

7	<p>◆例を参考に自分やある人物について紹介する文を書き写したり，グループ内で伝え合ったりする。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな人物の紹介ポスターを完成させる。 ○グループ内で自分や自分の好きな人物について伝え合い，よりよい発表にするためにアドバイスし合う。 	<p>【コ①】</p> <p>行動観察，ワークシート，振り返りカード分析</p>
8	<p>◆自分やある人物についての紹介を伝え合い，互いの発表内容について質問したり，質問に答えたりする。</p> <p>★Speech</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT や友達に，ポスターを見せながら自分や自分の好きな人物について伝え合う。 ・発表内容に合わせて質問をしたり，質問に答えたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A : I like watching baseball. It's fun. How about you? My favorite player is Otani Shohei. He can hit well. He can throw well. He can run fast. He is cool.</p> <p>B : Good! I have a question.</p> </div>	<p>【コ①】</p> <p>行動観察，発言，振り返りカード分析</p>

9 本時の計画

(1)目標

ある人物について目的や状況に応じて質問したり，質問に答えたりする。

(2)評価規準

【コ】他者に配慮しながら，友達のなりきっているものについて質問したり，自分のなりきっているものについて答えたりして，伝え合おうとしている。

(3)準備物

様々な場面の写真/イラスト，TV，振り返りカード

(4)展開

学習活動	指導上の留意事項と使用英語例	【評価規準】・評価方法・ALTの活動
1 挨拶をする。	○全体に挨拶し，個別に数名の児童に挨拶する。	挨拶をする。
2 Small Talk① テーマに沿って，1分間ペアの友達と会話をする。	○既習表現を使うことを意識させるとともに，上手く会話を続けられたペアを紹介したり困ったことを共有させたりして，会話が続くように促す。 S1 : What do you eat on your birthday?	机間指導で，児童の発言を支援する。

	<p>S2 : I eat fried chicken and cake. S1 : Why? S2 : I like fried chicken, and cake. It's delicious. S1 : I see. S2 : How about you? S1 : I eat hamburger steak and ice cake.</p>	
<p>3 Small Talk② (Who am I?クイズ) 写真の中のある人物になりきっている指導者や友達に、質問することを繰り返す中でどの人物になっているかを絞って行って当てる。</p>	<p>○指導者がデモンストレーションを見せることで、進め方を理解させる。 (全員で一枚の写真/イラストを見ながら) T1 : I will be someone in this picture. Who am I? T1 : Do you have questions? T2 : Yes! I have questions. OK? T1 : OK. You can ask me some questions. T2 : Do you study Japanese? T1 : No, I don't. I don't study Japanese. T2 : Do you clean ? T1 : Yes, I do. I clean my classroom. T2 : Do you have a mop? T1 : Yes, I do. I have a mop. T2 : I know. . . .</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">JTE とデモンストレーションをし、活動のモデルを示す。</p> </div> <p>○目的や状況に応じて質問したり、自分のなりきっているものについて答えたりして、伝え合おうとしている。 (行動観察、発言、振り返りカード)</p>
<p>Aim:友達のなりきっている人物にたどりつくための質問を考え、やり</p>		<p>児童の“How do you say?”の質問に答える。</p>
	<p>○まずやらせてみる中で、早く答えが見つかる場合と長くかかる場合があることに気付かせ、比較させることでよりよい質問の仕方について考えさせる。</p> <p>○児童に質問の意図を問うことで、友達のした質問やその答え、写真の中の状況を関連付けながら次の質問をするという考え方を引き出す。</p> <p>○めあてに「できるだけ早く」を付け加える。 (グループで写真/イラストを見ながら) A : I have questions. B : OK. A : Do you play soccer? B : No, I don't. I don't play soccer. A : Do you study? B : Yes, I do. I study. A : Do you study math ? B : Yes, I do. I study math. A : Do you have glasses? B : Yes, I do. I have glasses.</p>	

	<p>A : Is this boy?</p> <p>B : Yes! That's right.</p>	
<p>4 本時の授業を振り返る。 挨拶をする。</p>	<p>例) 今までに学習した表現を使って質問を考え、前の質問でわかったことをもとに、次の質問をすると、答えを見つけることができた。友達の質問にも習った表現で答えら</p>	<p>本時のねらいに照らして、児童をほめる。 挨拶をする。</p>